

新国立劇場 開場 20 周年記念 2017/2018 シーズン

ヘンリー五世

作◎ウィリアム・シェイクスピア

翻訳◎小田島雄志 演出◎鶴山 仁

出演◎浦井健治 岡本健一 中嶋朋子 ほか

2018 年 5 月 17 日(木)～6 月 3 日(日)

新国立劇場 中劇場

シェイクスピア作品中最も輝ける王、ついに登場

新国立劇場が2009年『ヘンリー六世』三部作、2012年『リチャード三世』さらに2016年『ヘンリー四世』二部作を上演し、演劇界の話題と注目を集め続けているシェイクスピア歴史劇シリーズ。シリーズを通して同一の主要キャストやスタッフ陣によって、上演を重ねるごとにカンパニーとしても円熟味を増しています。そして2018年5月、本シリーズについて新作『ヘンリー五世』が加わります。

前作『ヘンリー四世』のラストで新王に即位したヘンリー五世が内政の基礎を固め、さらに隣国フランスへの遠征に出向き、華々しい戦果を上げる様が生き活きと描かれます。もちろん今回もヘンリー五世の若き日を演じた浦井健治がそのまま新王を演じるなど、継続性を持ったカンパニーで充実の舞台を創り上げます。その他、岡本健一や中嶋朋子といった本シリーズの常連俳優から横田栄司ら初登場の俳優まで実力十分の出演陣、そして鶴山仁の演出など見どころ満載の舞台をお見逃しなく。

【2月18日(日)10:00チケット前売り開始 ☎ 新国立劇場ボックスオフィス 03-5352-9999】

写真・資料のご請求、取材のお問い合わせ

◎新国立劇場 制作部演劇 広報担当 尾崎 悠

TEL: 03-5352-5738 / FAX: 03-5352-5709

E-mail: ozaki_y1019@nntt.jac.go.jp

◎新国立劇場 制作部演劇 制作担当 三崎 力

TEL: 03-5352-5736

 **新国立劇場**
NEW NATIONAL THEATRE TOKYO
<http://www.nntt.jac.go.jp>

◎あらすじ

即位したばかりのヘンリー五世の宮廷にフランスからの使節が訪れる。さきごろヘンリーの曾祖父エドワード三世の権利に基づき要求した公爵領への返事を、フランス皇太子から遣わされたのだ。そこにはヘンリーの要求への拒否だけではなく、贈呈として宝箱一箱が添えられていた。中身は、一杯に詰められたテニスボール。それは、若き日のヘンリーの放埒を皮肉った、皇太子からの侮蔑だった。それを見たヘンリーは、ただちにフランスへの進軍を開始する。

◎演出 鶴山仁からのメッセージ

ヘンリー四世の死去とヘンリー五世の戴冠によって、やっと平和と安定を手に入れたかと思えたイングランドに、たちまち次なる戦いの足音が忍び寄る。

隣国フランスへの遠征が新たな火種となり、やがて薔薇戦争へと続く大抗争への扉を開いてしまうのだ。

国内の葛藤を海外派兵で解消しようとする矛盾が、かえって英仏両国の国家意識を呼び起こし、更にそれが一人ひとりの国民の、人権意識の目覚めにつながる。そういう意味で近代の誕生と近代の葛藤が、既にこの歴史には内包されている。

近代に連なるわれわれも、そうした葛藤から解き放たれたわけではない。好戦か厭戦か、国か個人かという普遍的な問いに対して、いまだに一方的な答えは見出せない。

この世界と人間とについての深い謎と魅力をたたえて、『ヘンリー五世』はわれわれに迫ってくる。

◎スタッフプロフィール

ウィリアム・シェイクスピア (William SHAKESPEARE)

イギリス、エリザベス朝の劇作家、詩人。1564年－1616年。

生涯に37本を越える劇作を残し、死後出版された全集ではその作品が歴史劇、悲劇、喜劇に分類された。そのうち歴史劇は10本を数え、イギリスの王権史に題材をとった『ジョン王』『リチャード二世』『ヘンリー四世』第一部、第二部、『ヘンリー五世』『ヘンリー六世』第一部、第二部、第三部、『リチャード三世』『ヘンリー八世』がある。執筆された順から『リチャード二世』『ヘンリー四世』二部作、『ヘンリー五世』を「第2四部作」と呼ぶこともある。

37本の作品群は21世紀の今日に至るまで、本国イギリスは言うに及ばず全世界で上演され続けている。我が国でも、明治期に翻案作品が紹介されて以来さまざまな形で上演され、歌舞伎から小劇場の公演まで広範囲に影響を与えている。

鵜山 仁 (UYAMA Hitoshi)

舞台芸術学院、文学座附属研究所を経て、1981年、文学座座員に。83年から1年間、文化庁派遣芸術家在外研修員としてパリに滞在。毎日芸術賞千田是也賞、紀伊國屋演劇賞個人賞など、受賞多数。最近の演出作品に『ペリクリーズ』『廃墟』『トロイラスとクレンダ』『マンザナ、わが町』『街と飛行船』『ヴェニス商人』『何かいけないことをしましたでしょうか？と、いう私たちのハナシ』『幽霊』など。

新国立劇場では、『リア王』『新・雨月物語』『新・地獄変』『コペンハーゲン』『花咲く港』『カエル』『アルゴス坂の白い家』『オットーと呼ばれる日本人』『舞台は夢 イリュージョン・コミック』『現代能楽集 鶴』『ヘンリー六世』三部作、『イロアセル』『リチャード三世』『桜の園』『ヘンリー四世』二部作、オペラ『カルメン』『鹿鳴館』を演出。

『ヘンリー六世』の演出で2010年芸術選奨文部科学大臣賞、読売演劇大賞 最優秀演出家賞などを受賞。昨年は16年第23回読売演劇大賞 最優秀演出家賞を受賞。07年9月より10年8月まで新国立劇場演劇部門芸術監督を務めた。

◎出演者プロフィール

王ヘンリー五世 ◇ 浦井健治(うらい・けんじ)

2000年、ドラマ「仮面ライダークウガ」でデビュー。04年、「エリザベート」のルドルフ皇太子役に抜擢。以降、ミュージカル、ストレートプレイ、映像と幅広く活躍。「ヘンリー六世」で第44回紀伊國屋演劇賞個人賞、「星ノ数ホド」ほかで第22回読売演劇大賞最優秀男優賞など受賞多数。

主な舞台に「アルジャーノンに花束を」「トロイラスとクレシダ」「アルカディア」「ビッグ・フィッシュ」「王家の紋章」「デスノート THE MUSICAL」「ペール・ギュント」などがある。

新国立劇場では「ヘンリー六世」「リチャード三世」「星ノ数ホド」「あわれ彼女は娼婦」「ヘンリー四世」に出演。

ピストル ◇ 岡本健一(おかもと・けんいち)

1985年、ドラマ「サーティーン・ボーイ」、88年には男闘呼組のメンバーとして歌手デビュー。その後、ドラマ、映画、舞台と幅広く活躍。2011年「恋人」、12年「地獄のオルフェウス」などで演出家としても活動。「タイタス・アンドロニカス」で第12回、「ヘンリー六世」で第17回読売演劇大賞優秀男優賞を受賞。

近年の主な舞台に「トロイラスとクレシダ」「二人だけの芝居ークレアとフェリースー」「パレード」「CRIMES OF THE HEARTー心の罪」などがある。

新国立劇場では「今宵限りは・・・」「母たちの国へ」「氷屋来る」「ヘンリー六世」「リチャード三世」「アルトナの幽閉者」「ヘンリー四世」に出演。

キャサリン ◇ 中嶋朋子(なかじま・ともこ)

1981年からのドラマ「北の国から」で22年間、蛍役を務める。その後、映画、舞台へと活動の場を広げ、実力派女優として高い評価を得ている。ほかには童話や絵本の朗読、エッセイの執筆、講演、ラジオ、テレビのナレーションでも根強いファンをもつ。「ヘンリー六世」で第44回紀伊國屋演劇賞個人賞、第17回読売演劇大賞優秀女優賞を受賞。

主な舞台に「私生活」「おそろべき親たち」「血の婚礼」「おやすみ、かあさん」「かもめ」「エレクトラ」などがある。

新国立劇場では「ガラスの動物園」「CLEANSKINS／きれいな肌」「ヘンリー六世」「リチャード三世」に出演。

◎公演概要

【タイトル】 ヘンリー五世 (Henry V)

【スタッフ】

作: ウィリアム・シェイクスピア

翻訳: 小田島雄志

演出: 鶴山 仁

芸術監督 宮田慶子

主催 新国立劇場

【キャスト】

浦井健治 岡本健一 中嶋朋子 立川三貴 水野龍司 吉村 直

木下浩之 田代隆秀 浅野雅博 塩田朋子 横田栄司

那須佐代子 小長谷勝彦 下総源太郎 櫻井章喜 清原達之 鍛治直人 川辺邦弘

亀田佳明 松角洋平 内藤裕志 田中菜生 鈴木陽丈 小比類巻諒介 永岡玲央

勝部演之 金内喜久夫

【会場】 新国立劇場 中劇場 (京王新線 新宿駅より1駅、「初台駅」中央口直結)

【公演日程】 2018年5月17日(木)～6月3日(日)

※マンスリープロジェクト

トークセッション「新国立劇場のシェイクスピア歴史劇を振り返って」/5月27日(日)17:00

【前売開始】 2018年3月3日(土)10:00～

【料金】 料金: S席8,640円、A席6,480円、B席3,240円、Z席1,620円(税込)

【チケット申し込み・お問い合わせ】

新国立劇場ボックスオフィス TEL: 03-5352-9999 (10:00～18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nnt/>

* **Z席1,620円** 公演当日10時よりボックスオフィス窓口で販売。1人1枚。電話予約不可。* **当日学生割引** 公演当日残席がある場合、Z席を除く全ての席種について50%割引にて販売。要学生証。電話予約不可。* 新国立劇場では、高齢者割引(65歳以上5%)、障害者割引(20%)、学生割引(5%)、ジュニア割引(中学生以下20%)など各種の割引サービスをご用意しています。